

役員会開催

令和2年度2回目の八幡自治振興区役員会を6月16日に開催しました。

議題

協議結果

- ①今年度事業の実行予定について・・・盆まつり中止・運動会開催実行委員会で決定
- ②支部活動費について・・・1世帯当たり2千円から3千円に増額
- ③防災研修の実施について・・・菅・受原地区で実施予定

報告事項

- ①庄原市自治振興区連合会総会・・・書面議決済み
- ②東城町自治振興区連絡協議会総会・・・6月9日会長出席
- ③振興センター環境整備・・・6月10日飯山会実施
- ④竹林の伐採について・・・幼木の伐採委託
- ⑤こんにゃくの植え付けについて・・・5月28日実施

振興センターの環境整備

6月10日(水曜日)、午前中の約2時間、飯山会(小林茂房会長)22名の皆さんによって自治振興センターの環境整備をしていただきました。施設周囲の草刈、花壇の整備、落ち葉などの清掃を実施しました。短時間で広範囲にわたってきれいになりました。あらためて、飯山会の組織力と若さには感心させられました。ありがとうございました。

8月2日には、社会福祉協議会主催の健康体操を含めてもう一度環境整備をお願いします。

飯山会は、八幡に在住で60歳以上の方の高齢者の会です。現在54名の会員で地域の美化活動、視察研修、地区老連運動会・グラウンドゴルフ大会等の活動をされています。随時、会員の募集をされていますので希望される方は、小林茂房会長(4-0338)又は、佐古辰巳事務局(4-0525)へご連絡ください。



デイホームを再開しました

新型コロナウイルスの影響で中止していたデイホーム事業を6月10日から再開しました。森会場では6名の会員の皆さんが集まって約2か月ぶりの再会でした。午前中は、デイホームの休止中に自宅へ送付した宿題の答え合わせ、午後からは、ハンドベル演奏の選曲をしました。皆さん久しぶりだったので楽しい時間を過ごされました。デイホームを心待ちにされていたようです。

センターの片付けをしていたら・・・

自治振興センターには、驚くほどいろいろな物があります。先般調理室の物入れに段ボール箱がたくさんあるので開けてみました。中には過去公民館で結婚式を行っていた頃の、神前結婚式用の祭壇が出てきました。組み立ててみたら、まだ使えるような状態です。



巣立ち

この時期は、日本に燕が飛来して産卵の後寒くなると孵化した子どもと南方へ飛び立ち又次の年に日本へやってきます。写真では、ひなのみんなが右側にとまっているので棒が傾いています。ちょっとユーモラスですね。昔は、ツバクラメあるいはツバクロと呼ばれていたのだそうです。

歌では、昭和14年に小林千代子さんが歌った「旅のつばくろ」ほとんどの皆さんは知らないでしょうが哀愁のあるいい曲です。又、最近出版された沢木耕太郎著書で同名の本が人気のようです。旅のエッセイで結構面白い内容でした。つばめのように、思うがまま旅をしたいのは人々の夢や希望なのでしょう。



熊が目撃されました

6月13日の夕方、菅のJA育苗センター付近で熊が目撃されたとのオフトーク放送がありました。今年は例年にない暖冬から、熊の活動が早まっているとされています。注意が必要です。

熊による人身被害防止のポイント

- ・入山時は、ラジオや鈴など音の出るものを持参し、単独行動は避ける。
- ・熊の活動が活発な早朝や夕方の入山は避ける。
- ・熊のえさとなる生ごみ、不要となった果実や農作物は適切に処分する。
- ・子熊を見かけても、決して近づかない。近くに母熊がいる可能性があります。

マスク姿

最近、外出する人のほとんどがマスク姿です。みんながマスクをしているので、知人に出会ってもすぐにはわからないことがしばしばです。挨拶もしないで、通り過ぎる失礼をすることもあるのじゃないかと思います。早くマスクを外して出歩ける日が来ることを願っています。



今日の一句：マスク顔 あなたは誰と 思案する